令和 8 年度シニアカレッジ上越同窓会講演会の開催

9 月 8 日(火)に、「講演」と「茶話会」の 2 部制で講演会を開催した。

第 1 部の講演会は

講師　知命堂病院　事務長　田原　智　様　及び　元同病院看護部長　上ノ山すみ　様

演題　「知命堂病院と大関　和」

現在 NHK で放映中の「風、香る」の上越市高田で防疫等大きな功績をあげ、現在も地域医療に尽くしている知命堂病院と、主役の　見上　愛さん　が演ずる　一ノ瀬りん　のモチーフである　大関　和(おおぜき　ちか)　の功績が内容

最初に、田原事務長から、知命堂病院の概歴として、明治 4 年高田藩の藩医　瀬尾玄弘　が自宅で知命堂医院を開業その後、後の初代病院長となる瀬尾玄弘の兄の子供　瀬尾原始　を養子として迎え明治 24 年に知命堂病院を開院した経緯や、知命堂病院設立の趣旨、瀬尾原始　と　大関　和　の出会い、両名の功績等の講話があり

続いて、上ノ山元看護部長から、日本の近代看護の礎を築いた実在の人物である　大関　和　について、次のとおり詳細な講話があった。

【　田原事務長の講演受講風景　】



- 日本で初めてナイチンゲール方式の看護教育を受けた看護婦の 1 人
- 看護婦になるための実地指導を受けた実習病院　帝国大学第一医院　で、後に知命堂病院の初代院長になる　瀬尾原始医師　の指導を受けた。
- 看護婦として帝国大学附属病院に勤務・退職後、高田女学校の舎監兼キリスト教の伝道師に赴任し、偶然にも知命堂病院設立のため高田に呼び返された　瀬尾原始　と再会、瀬尾原始に懇願されて同病院の初代看護婦長となる。
- 呼吸困難となった子供に、当時としては最新の心肺蘇生の基本手技「口対口」の人工呼吸を行った。
- 赤痢等の流行時には、近隣の村々に診療や防疫対策に駆けつけ、明治 27 年に伝染病院を設置した。
- 明治 27 年に　瀬尾原始　と共に、新潟県で初の看護婦養成所である付属産婆看護婦養成所を設立した。
- ナイチンゲールの「看護覚え書き」が和訳される前に、「実地看護法」を出版し、ナイチンゲールの教えを日本の看護の実情に合わせて紹介した。
- 上ノ山元看護部長は、最後に「ふとしたきっかけで、大関の『実地看護法』を学び、明治の時代にこんなことが行われていたと驚くばかりで、いかに大関の知識が当時として完璧に近いものであり、実行されていたと感銘した。」旨述懐された。



第 2 部の懇親会は、田原事務長、上ノ山元看護部長に参加していただき、大いに盛り上がり司会者が閉会の声かけに困るほどであった。

【　講師お二人参加しての茶話会風景　】